

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	(経済学)リベラルアーツ	
科目基礎情報							
科目番号	0136			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電気電子創造工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書は特に指定しない。参考書：小野塚知二『経済史』有斐閣、2018年。						
担当教員	岡田 一郎						
到達目標							
1. 新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができる。 2. 経済のあり方について自分なりの見解を述べるができる。 3. メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することが十分にできる。		新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができる。		新聞・TV等で報じられているニュースの内容や背景を理解し、それを他者に正しく説明することができない。		
評価項目2	経済のあり方について自分なりの見解を述べる事が十分にできる。		経済のあり方について自分なりの見解を述べる事ができる。		経済のあり方について自分なりの見解を述べる事ができない。		
評価項目3	メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することが十分にできる。		メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができる。		メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	メディアリテラシーを身につけ、情報の正確さについて判断できるようになると共に、特定の事項について自力で情報を取捨選択することができない。						
授業の進め方・方法	3つの到達目標について、定期試験と授業中の発言や報告によって総合的に判断し、60%以上の成績で達成とする。定期試験70%、授業中の発言や報告30%。						
注意点	特になし。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1. 共同体と生産様式		左記内容を理解する		
		2週	2. 前近代社会の持続可能性と停滞		左記内容を理解する		
		3週	3. 前近代の市場・貨幣・資本		左記内容を理解する		
		4週	4. 市場経済と資本主義		左記内容を理解する		
		5週	5. 近世の市場と経済活動		左記内容を理解する		
		6週	6. 近世の経済と国家		左記内容を理解する		
		7週	7. 経済発展の型		左記内容を理解する		
		8週	8. 産業革命		左記内容を理解する		
	4thQ	9週	9. 資本主義の経済制度		左記内容を理解する		
		10週	1 0. 国家と経済		左記内容を理解する		
		11週	1 1. 資本主義の世界体制		左記内容を理解する		
		12週	1 2. 第一のグローバル化と第一次世界大戦		左記内容を理解する		
		13週	1 3. 第二次世界大戦とその後の経済		左記内容を理解する		
		14週	1 4. 第二のグローバル化の時代		左記内容を理解する		
		15週	1 5. 経済成長の限界と可能性		左記内容を理解する		
		16週	1 6. 定期試験		左記内容を理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0